

# 河根の学校だより

平成26年度 12月 特別号  
九度山町立河根小・中学校

## 避難訓練・防災教室を行いました。

寒い時期の実施でしたが、学校だけでなく、保護者、自主防災組織・地域の皆さま(18名)、行政(県・町)関係(5名)の多くの方々に参加いただくことができました。ありがとうございました。

成果や課題を把握・検討しながら今後の防災教育に活かすとともに、あらゆる状況を想定した避難訓練・防災体験学習を継続して実施していきたいと考えています。

次の機会もまた、参加・協力くださいますようお願いいたします。



**避難訓練** 緊急地震速報が流れ、授業中の教室ではなく、昼掃除の時間に地震が発生したとの想定は初めてでしたが、各自が自分の身を守る行動をとり、落ち着いて避難します。



○普段とは違う感じで、怖かった。新鮮だった。

○一人だったので、一人にいる時、どう行動すればよいか考える時間になった。(子供たちの感想)

○危険な場所をみんなで知っておくことが必要。



## パーティションの設営

中学3年生のリーダーを中心に、10分程度で10部屋が完成。



## 今西武先生からのアドバイス

災害時の3つのFのお話がありました。

F: フリーズ (固まる) F: フライト (逃げる)

F: ファイト (力を振り絞る)

河根の子どもたちは知識をもっている、分かっている、今後は今日のような実践できる場をたくさん用意していく必要がある。

○体育館での体験などがよかった。頭で考えることと違い、役立った。自分が振る舞う立場になったときのシュミレーションができた。

## 備蓄食料の試食

備蓄白米とレトルトカレーをパーティション内で試食



12月3日(水)

避難訓練 13:20~13:40

○想定: 緊急地震速報が発令され、震度6強の地震発生。

土砂崩れや地割れ等の大きな災害が発生。

○避難集合場所...河根中学校運動場 → 安全確認後、中学校体育館へ

防災教室 13:45~15:40

○避難所での生活を想定した防災教室

- ・お話 和歌山大学防災研究教育センター 今西 武 先生
- ・パーティション(間仕切り)設営体験
- ・備蓄食料の試食...備蓄食料(白米等)

## 全員での意見交換

3グループに分かれ、ストーブを囲んでの意見交換会



○災害時も子供の力を活用できると感じた。大人の指示のもと動ける存在だと思う。

○河根の子どもたちは、自分の意見が言える。素晴らしい。



○土砂災害の経験から...とっさの時にどうすればいいのかわからなかった。どんなときにどこに連絡すればいいのか確認しておく必要がある。



○子供が知ってくれた(経験した)ことで、落ち着いて行動してくれるのではないかと考えた。

今回の避難訓練・防災教室の実施に当たり、ご指導いただいた今西武先生、備蓄食料を提供いただいた町地域防災課、参加・協力いただいた自主防災組織の皆様、保護者、県・町教育委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。(校長 福本由紀子)